

一宮市は 中核市へ

一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月の中核市移行を目指しています。今月号から、中核市に関するいろいろな情報を紹介します。

第1回 中核市とは？

中核市とは、国の指定を受け、県の仕事の多くを行う、人口20万人以上の都市のことです。規模や能力の比較的大きい市が事務権限を拡大し、住民に身近なところで行政サービスを提供できるよう、大都市制度の一つとして地方自治法で定められています。

一宮市も、中核市移行によって移譲される事務権限を活用し、実情に合ったより質の高い行政サービスの提供を実現します。



【問】中核市移行推進課 ☎(85)7003

地域づくり協議会 活動だより 52

～ 千秋町連区編 ～

千秋町連区地域づくり協議会は発足して、今年で9年目を迎えました。協議会は地域で各種共同活動を行い、地域住民の共通の利益の増進、生活環境の保持・改善に努め、文化・福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与することを目的としています。

交流の場の一つ目は、千秋公民館です。「盆踊り大会(7月)」「鮎つかみ大会(8月)」「もちつき大会(12月)」など、地域住民が交流できる場を提供しています。近くの田んぼでは「うなぎつかみ大会(6月)」を開催し、多くの子どもたちの元気な姿が見られます。11月の文化展では、絵画・書・写真・手芸などを1,000点ほど展示し、ミニコンサートも開催しました。

二つ目は、いちい信金スポーツセンターです。

11月には老人クラブ主催の世代間交流事業「皆で歩こう会」が開催されました。230人ほどが参加し、3kmと5kmのコースにチャレンジしています。また「秋の桜守ワーク」として、子ども会を中心に350人ほどが参加して清掃活動を行い、今年も桜が見事に咲きました。

これらの催しや活動は、当協議会ウェブサイトですべて随時紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



▲うなぎつかみ大会

【問】市民協働課 ☎(28)8954